

# 月 和歌と

Group B

鈴木 康浩、菅谷 莉央、南雲 修司 他2名



# 学んだことを生かしたクイズ

①教科書の学習内容に則り、「月の形とその変化」の学習を行う。

②「月」に修飾される言葉

⇒「い出し」だったら、月が登り始めるとき

「月」の形に言及される言葉

⇒何時、何日ごろの月か？

を思考する。

③Ans...和歌の中で月がどのように表現されているか

課題

和歌の歌はほとんどが満月

## ○デジタルアーカイブを用いる利点

- ・和歌(集)から、「月」に関する歌を検索できる(?)
- ・浮世絵のような、歌に関連する絵を検索できる

## ▽デジタルアーカイブを用いるにあたっての課題

- ・写真ではなく絵を用いることによってどのような利点が得られるかを検討する必要がある
- ・“実践する理科”(実験, 観察等)との相性を考える必要がある

# 「百人一首」の月の和歌

天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に 出でし月かも

阿倍仲麻呂

月見ればちぢにもものこそ悲しけれ わが身一つの 秋にはあらねど

大江千里

夏の夜は まだ宵ながら 明けぬるを 雲のいづこに 月宿るらむ

清原深養父

めぐりあひて 見しやそれとも わかぬまに 雲隠れにし 夜半の月かな

紫式部

やすらはで 寝なましものを 小夜更けて かたぶくまでの 月を見しかな

赤染衛門

心にも あらでうき世にながらへば 恋しかるべき 夜半の月かな

三条院

秋風に たなびく雲の 絶えまより もれ出づる月の 影のさやけさ

藤原顕輔

天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山  
に出でし月かも

阿倍仲麻呂

原文「山にい出し月かも」  
⇒解釈「山に出ている月のように」

Q「山と月の位置関係は？」

A「い出る」という表現では月の状態  
が分からない。

「百人一首之内」「阿倍仲麻呂」

出典:ARC浮世絵ポータルデータベース © The Trustees of the British Museum.

CC BY-NC-SA 4.0

[https://jpsearch.go.jp/item/arc\\_nishikie-BM\\_2008\\_3037\\_10607](https://jpsearch.go.jp/item/arc_nishikie-BM_2008_3037_10607)



# 天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山 に出でし月かも

阿倍仲麻呂

原文「山にい出し月かも」  
⇒解釈「山に出ている月のように」

(中国を訪れたとき、故郷(日本)で見た月と同じ月であつたことを謳った歌)

Q「中国でも日本と同じ月が見えるのか？」  
(A 中国でも日本でも月が登る条件は一致)

以下の資料を利用しておりましたが、  
二次利用条件が確認できなかったため、掲載していません。

「月百姿」「阿倍仲麻呂」  
<https://www.dh-jac.net/db/nishikie/NDL-541-00-048/portal/>



月見ればちぢにもものこそ悲しけれ  
わが身一つの 秋にはあらねど

大江千里

原文「月見ればちぢにもものこそ...」  
⇒解釈「月を見るととても悲しく感じる」

- Q「秋に見る月は、物悲しく感じるそうです。  
なぜ、秋の月は悲しく感じるのでしょうか？」
- (A 秋は空気が澄んでおり、  
月がより一層綺麗に見えるから)
- (A 満月が夜の速い時間に見られるから  
(夏は夜中))



やすらはで寝なましものを 小夜更けて  
かたぶくまでの 月を見しかな

赤染衛門

原文「かたぶくまでの月を見しかな」  
(む)

⇒解釈「月が傾くまでの時間ずっと眺めていた。」

問いの参考

Q「月は傾くまで何時間かかるのだろうか」

Q「どのくらいの時間月を眺めていたんだろうね」



一勇齋国芳『小倉擬百人一首 赤染衛門』伊場仙. 国立国会図書館デジタルコレクション  
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1313035> (参照 2023-08-24)  
<https://jpsearch.go.jp/item/dignl-1313035>

めぐりあひて 見しやそれとも わかぬまに 雲  
隠れにし 夜半の月かな

紫式部

——問いや展開を考えてみましょう。

広重『小倉擬百人一首 紫式部』,伊場仙. 国立国会図書館デジタルコレクション  
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1312993> (参照 2023-08-24)  
<https://jpsearch.go.jp/item/dignl-1312993>

